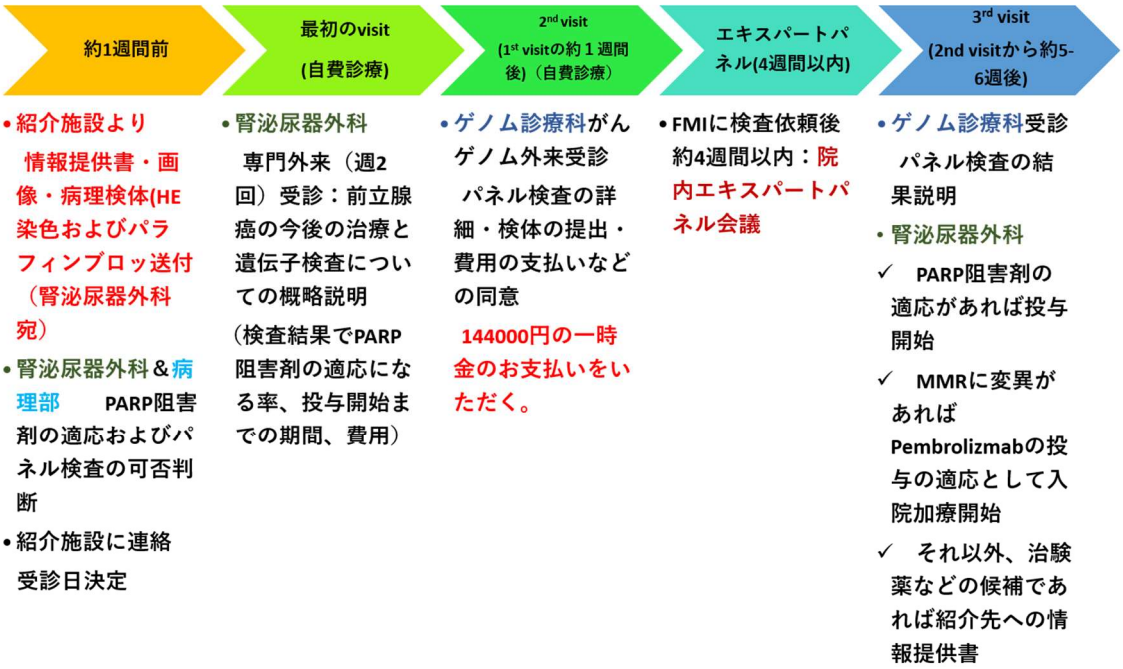
Olaparib 使用にあたっての基準と手順

- 転移性去勢抵抗性前立腺癌　新規ホルモン剤使用後の再燃例(1 剤目の新規ホルモン剤の効果が減弱してきたら、ご紹介ください)
    1. 遺伝子検査が可能な組織（Primary または転移部位）が十分ある症例（Foundation One CDx)：ただし検体は 3 年以内である必要がある。
    2. 余命が 6 ヶ月以上見込まれる症例
    3. 遺伝子検査に必要な組織がない症例で生殖系細胞変異の検査にご理解のある方には BRACAnalysis(Myriad)を行います。その場合には最初は自費診療となりますのであらかじめご連絡ください。

➢ 最初の受診は　毎週月曜日　午後　井上（毎週 1 枠）　第 1・3・5 金曜日　午前　佐々木（各 2 枠）でお願いします。

➢ 転移部位・局所の再生検は原則各ご施設でお願いします。どうしても困難な場合にはご相談ください。

➢ Olaparib 投与が決まりましたら、最初の投与は三重大学で行いますが、有害事象など問題なければ各ご施設で継続治療をお願いすることになります。

三重大学での現時点でのOlaparib投与の手順